

令和8年度  
鹿児島大学共同獣医学部共同獣医学科  
学校推薦型選抜Ⅱ

小論文問題

この問題冊子は合図があるまで開かないこと。

この問題冊子は表紙、メモを含む4ページからなる。

印刷が不鮮明な場合や落丁等がある場合には挙手で監督者に知らせること。

問題は全部で2問である。2問とも回答すること。

**問 1**

鹿児島県には 28 の離島があります。離島における獣医師の役割と必要性について、自分の考えを 800 字以内で記述しなさい。

## 問 2

以下の文章を読み、産業動物獣医師不足の原因およびその解決策について、800字以内であなたの考えを記述しなさい。

畜産や酪農に関わる産業動物獣医師の確保が急務だ。多くは犬や猫などのペット診療の道に進み、産業動物獣医師は全体の2割にとどまる。獣医師は畜酪を守るとりでだ。政府には抜本的な拡充を求めたい。

農水省によると、国内の獣医師は全国で4万455人(2022年)。その4割超がペットを対象にした小動物診療に従事。牛や豚など産業動物の診療に携わる獣医師は全体の11%で、都道府県で家畜伝染病の防疫や農家の指導に携わる公務員獣医師(8.2%)と合わせても、7771人と、小動物獣医師の半分にも満たない。

高病原性鳥インフルエンザや豚熱、口蹄疫など家畜伝染病の予防や拡大防止を担う産業動物獣医師の役割は重みを増す。農水省は20年5月に「獣医療を提供する体制の整備を図るための基本方針」を策定。産業動物獣医師の養成や確保を「喫緊の課題」とし、労働条件の改善などを掲げた。

出典：日本農業新聞ホームページ 2025年7月12日 [論説]、一部抜粋  
<https://www.agrinews.co.jp/opinion/index/318820>